

2022年9月5日

三島市長 豊岡 武士 様

特定非営利活動法人 グラウンドワーク三島理事長 小松幸子

### 源兵衛川における度重なるホタルなどの生態系に配慮しない草刈りへの「抗議文」

源兵衛川は、過去 30 年間にわたり、生き物たちとの共生を目的として、水辺環境の再生に取り組んできた、「水の都・三島」の貴重な「水辺の宝物」「環境資源」です。

ゴミ捨て場化していた源兵衛川を、市民・NPO・行政・企業とのパートナーシップの力により清流に再生させ、ホタルが乱舞し、子どもたちの水遊びの歓声が響く、安全で楽しい清流に復活させました。

今では、市内から一時姿を消した水中花「ミシマバイカモ」や絶滅危惧種の「ホトケドジョウ」などが復活し、街歩きの観光スポットとしても、国内外に誇れる素敵な水辺空間が形成されました。

しかし、今回、2022年7月8日付けで、豊岡武士三島市長宛てに提出した「源兵衛川におけるホタル保護など生態系に配慮した維持管理の実施に関する申入書」を無視して、三島市水と緑の課により、源兵衛川・水の苑緑地周辺の草刈りを、9月上旬に再度、実施しました。

これから多くの魚たちが産卵する、川の淵にある大切な植物類をすべて刈り取ってしまいました。当然、以前説明申入したように、ホタルが集団産卵してあるコケ類も一部排除され、さらに、川の中に入っただけの草刈り作業により、ホタルの幼虫も踏みつけられてしまいました。

本年度は、過去最高のホタルの飛翔数(3,321 匹)を数え、来年度以降でのさらなる飛翔数の増加を期待している最中での今回の三島市による草刈りは、今後は、お互い同士で情報交換し、現場での立ち会い、相互の役割分担の明確化を行うことを、約束したにも拘わらず、同様の相談無き、乱暴な対応に怒りを覚え、行政への不信感も増大し、大変、驚いております。

グラウンドワーク三島は、今回の源兵衛川における三島市水と緑の課による草刈りに強く「抗議」するとともに、約束違反の理由についての説明を求め、今後の対応について、下記のとおり「要望」します。

生き物たちの生きる権利を奪い、自然との共生の意識が欠如した、今回の行政行為を切っ掛けとして、今後、同様の「環境被害」が2度と起こらないように、三島市による、誠実な対応を望みます。

#### 記

1. 源兵衛川における草刈りなどの整備作業を実施する際には、事前に本会に連絡するとともに、施工者を含めた、現場での立ち会い・確認を行い、双方が納得・合意した対応を図ること。
2. 毎年、豊岡武士三島市長と中郷用水土地改良区理事長宛てに提出している「三島の川をきれいにする奉仕活動における源兵衛川の清掃活動の中止のお願い」の合意事項に沿った、適切・確実な対応を、農政課や他の機関との調整を踏まえ、実施すること。
3. 本会による、源兵衛川に関わる勉強会や環境再生ワンデイチャレンジなどへ、三島市役所関係職員に参加していただき、各分野の環境専門家からの生態学や生物多様性を前提とした、環境に配慮した水辺の維持管理方法を学ぶ機会を設けること。

以上、三島市水と緑の課により、繰り返される約束違反の行為について、ここに強く「抗議」するとともに、今後、源兵衛川において、環境に配慮した適切な対応を図ることを「要望」します。